

## ガボン共和国月報（2014年9月）

2014年9月号

在ガボン日本国大使館

### 主な出来事

#### 【内政】

- 通常国会の開会
- 日・ガボン協力：バイオマス研修に係るアトリエ開催
- アリ・ボンゴ大統領による社会住宅建設現場視察

#### 【外政】

- アリ・ボンゴ大統領によるチュニジア公式訪問
- アリ・ボンゴ大統領のニューヨーク・フォーラム出席
- アリ・ボンゴ大統領による国連第69回総会一般討論演説

#### 【経済】

- ガボン経済の国際競争力上昇 サブサハラ域内1位
- スタンダード&プアーズ格付け「ガボン BB-／B」
- CEMAC発表：2014年予測経済成長率 ガボン7.1%

#### 【内政】

##### 1 通常国会の開会

1日、ガボン国民議会及び上院が開会し、各種式典が開催された。その中で、ギイ・ンズバ・ンダマ国民議会議長は、中部アフリカ経済通貨共同体（CEMAC）が2015年1月から各加盟国での適用開始を求めている「目的ごとの予算編成」（BOP）を中心に審議する旨述べた。また、ローズ・フランシーヌ・ロゴンベ上院議長は、「台頭するガボン戦略計画」（PSGE）の実現に向けて各プロジェクトの協議及び実施を加速させる旨発言した。

（UN9/2）

##### 2 日・ガボン協力：バイオマス研修に係るアトリエ開催

12日、首都リーブルビルにおいて、日本による平成21年度対ガボン環境プログラム無償資金協力「森林保全計画」にかかる技術支援（供与機材の初期研修：バイオマス研修）のアトリエが開催された。船津駐ガボン日本臨時代理大使は、本計画による技術支援研修に延べ63名の受講者が参加しており、引き続きガボンによる環境政策の持続的発展に期待する旨述べた。（UN9/17）

##### 3 オマール・ボンゴ大学による学術交流に係る協定の締結

オマール・ボンゴ大学は、露アストラカン州立大学との間で、教育・科学研究の分野における協力関係強化に向けた学生、教授及び研究者の交流に係る協定を締結した。また、同大学は、学生の環境・持続可能な開発分野における研究を支援する目的で、仏・開発研究院（IRD）と協定を締結した。（PR9/17）

#### **4 アリ・ボンゴ大統領による社会住宅建築現場の視察**

20日、アリ・ボンゴ大統領は、リーブルビル市内アンゴンジェ地区において建設中の社会住宅地区を訪れ、当初計画より遅れが生じている工事の進捗状況について、同行したマグローワール・ンガンビア住宅相から説明を受けた。同住宅は、1棟当たり1,000万CFAフラン（約200万円）で、今までに住宅を所有したことがない人々に対して優先的に販売される予定。（PR9/22）

#### **【外政】**

##### **1 赤道ギニア大統領特使によるアリ・ボンゴ大統領表敬**

1日、ジェロニモ・オサ・オサ・エコロ赤道ギニア与党PDGE幹事長は、アリ・ボンゴ大統領を表敬し、オビアン・ンゲマ大統領の特使として同大統領の親書を手交すると共に、両国の内政につき意見交換を行った。（UN9/2）

##### **2 アリ・ボンゴ大統領と米代表団とのギニア湾情勢に係る協議開催**

4日、ビサ・ウィリアムズ米国務次官補代理（アフリカ担当）率いる米代表団は、大統領府にて、アリ・ボンゴ大統領と会談し（ンプオ国防大臣同席）、両国にとって重要課題となっているギニア湾の海賊取締りに向けたガボン政府の協力を謝意を表明しつつ、海上保安に向けた訓練及び装備強化等について意見交換を行った。（GM9/5）

##### **3 アリ・ボンゴ大統領によるチュニジア公式訪問**

5日-7日、アリ・ボンゴ大統領は就任後初めてチュニジアを公式訪問し、雇用や企業の競争力を含めた経済分野における二国間協力関係の強化を図った。今次訪問の機会に、ガボン政府は、チュニジア政府との間で、外交旅券保持者の査証撤廃に係る協定、高等教育・科学研究における協力強化に関する協定及び両国共通の製品標準化規定導入に向けたガボン工業標準化庁（AGANOR）とチュニジア国家工業標準化・知的財産院との間の協力協定を締結した。（PR9/7）

##### **4 アリ・ボンゴ大統領のニューヨーク・フォーラム出席**

21日、国連総会参加のため米国訪問中のアリ・ボンゴ大統領は、第4回ニューヨーク・フォーラムに出席し、国民の過半数を占める若者の雇用状況改善が急務であり、右改善のため、教育、特に高等教育・技術教育分野への投資を増加し、雇用と人材育成を関連づけた政策を実施する必要がある旨述べた。また、同大統領は、改めて、森林保全、電力生産時に発生する二酸化炭素排出量の削減及び持続可能な開発を通じて、気候変動対策に積極的に取り組む決意を表明した。（PR9/21）

##### **5 アリ・ボンゴ大統領による国連気候サミット**

23日、アリ・ボンゴ大統領は、国連総会のマージンにおいて開催された気候サミット（テーマは「気候、保健、雇用」）において、サウリ・ニーニスト・フィンランド大統領と共同議長を務め、「緑のガボン」政策（環境保全）における同国の取り組みを説明し、環境保全に向けた同国のリーダーシップを示した。（PR9/23）

## 6 アリ・ボンゴ大統領による国連第69回総会一般討論演説

25日、アリ・ボンゴ大統領は、国連総会一般討論演説において、特に、エボラ・ウィルス撲滅に向けたガボンの協力として、過去において数回、国内でのエボラ出血熱発症に対処した経験を有するガボンでは、エボラ出血熱に専門的な知見を有するフランスビル国際医学研究センター（CIRMF）が協力を行っている旨発言した他、国内の汚職撲滅を優先的な戦略目標として掲げ、現在、大規模な監督・査察を実施している旨述べた。（PR9/25）

### 【経済】

#### 1 国内企業トップ30の発表

週刊誌ジュンヌ・アフリックは、2013年の各社売り上げを基に、ガボン国内企業トップ30を発表した。なお、上位5企業は、第1位タル・ガボン社（8500億CFAフラン）、第2位SOGARA（5160億CFAフラン）、第3位シェル・ガボン社（4830億CFAフラン）、第4位Comilog（3155億CFAフラン）、第5位モレル・プロム社（3110億CFAフラン）。（UN9/2）

#### 2 ガボン経済の国際競争力上昇 サブサハラ域内1位

3日に「世界経済フォーラム」(WEF)が公表した2014年－2015年の国際競争力ランキングによると、ガボン経済の国際競争力は、前年第112位より6つ順位を上げ、調査対象となった144カ国中第106位、アフリカ全体では第11位、サブサハラ地域では第1位であった。特に、イノベーション、高等教育、ビジネス環境等の調査項目において高い評価を得た。（GM9/5）

#### 3 スタンダード&プアーズ格付け「ガボン BB-／B」

スタンダード&プアーズはガボンの長期・短期国債の格付けを発表し、前回と変わらず、それぞれBB-及びBであった。同社は、潜在的な石油埋蔵量は魅力的であるが、GDPの50%を石油セクターに依存しており、国際市場における原油価格の変動がリスクである旨コメントしている。（UN9/10）

#### 4 CEMAC発表:2014年予測経済成長率 ガボン7.1%

中部アフリカ経済通貨共同体(CEMAC)は、2013年下半期の景気動向を基に、各加盟国の2014年予想経済成長率を発表した。ガボンについては、主に公共事業や鉱業等の非石油セクター（+8.5%）に引き上げられ、予想経済成長率は7.1%に上ると見られている。（PR9/15）

#### 5 ガボン・モロッコ経済協力の強化

電力及び再生可能エネルギー分野における両国間企業の交流及び貿易の促進を狙い、ガボン商工会議所は Maroc Export（モロッコ輸出促進センター）と、ガボン水道・電気工事組合は Fenelec（電力・電子・再生可能エネルギー連盟）と、それぞれ戦略的経済協定に署名した。（GN9/25）

出典：PR（大統領府公式HP）、UN（ユニオン紙）、GM（ガボン・マタン紙）、GN（ガボン・ニュース電子版新聞）